

第1学年2組 算数科学習指導案

令和7年6月26日(木) 第2時限 場所 1年2組教室

1 単元 たしざん(本時5/7)

2 本時の目標

加法を表すキーワードを使ったり、文型を理解したりして、たし算になるお話をつくることができる。
(思考力・判断力・表現力等)

3 主体的な子供を育むための手だて(手だて①)

- ・「あわせて」「ぜんぶで」などのたし算の式になるキーワードや文型を示すことで、理解ができるようにする。

4 展開

(下線部は本校の研究にかかわる手だて)

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 たし算の式になるキーワードを考える ・「ふえると」があったね。 ・「みんなで」もあるよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>キーワードを見つけやすいように、今まで教科書に下線を引いたところを確認する。</u> ・ <u>おはなしをつくるためにたし算だと分かるキーワードを板書する。</u>
課題 (3)	2 本時の学習課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">たしざんだと わかることばを</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習課題を設定する。
展開 (30)	3 教科書P10の絵や問題文から、たし算の話を理解し、式を書く ・「ぜんぶで」は、たし算のキーワードだよ。 ・式は $3 + 4 = 7$ で答えは7匹だね。 ① 白いやぎが3匹います。(水色) ② 黒いやぎが4匹います。(黄色) ③ 全部でやぎは7匹います。(ピンク)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面が把握しやすいように、絵図を提示する。 ・ 発問「たし算のキーワードは何かな」 ・ たし算だと分かる言葉が分かるように問題文に下線を引くよう働きかける。 ・ たし算の式がかけない児童には、数図ブロックを一緒に操作し、解を求める。 ・ 問題文の構成を理解できるように、文型が3文で書かれていることをおさえる。 ・ 文章の順序を視覚化できるように、問題文を色分けする。 ・ 組み合わせを明確化するために、ワークシートに3つと4つの物を書き、その言葉を使ってお話をつくるよう促す。 ・ 文章の順序が分かるよう絵を見ながら先に書くものを確かめる。 ・ 困っている児童は活動3の文型を参考にしよう助言する。 ・ チームでお話が確認できたら、絵の中から違うお話をつくるよう働きかける。 ・ たし算になるキーワードを正しく使い、適切な文型でつくることのできた児童を数名指名し、称賛する。
整理 (7)	4 教科書P24の絵をみて、 $3 + 4 = 7$ の式になる話をつくり、チームで話し合う ① 3つと4つの物の名前を書く。 ② 穴埋め式のワークシートに大事な言葉を書き、話をつくる。 ・ 初めに3個あるものを見つけるよ。 ・ たし算は「ぜんぶで」を使うよ。 ③ チームで話を読み合って確認する。 ④ つくった話を全体に発表する。 ・ 黄色のヨットが3個あります。白色のヨットが4個あります。ヨットは全部で7個あります。	
	5 本時の振り返りをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">・たし算のおはなしをつくるためには、「ぜんぶで」や「あわせて」などの言葉が必要なんだね。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学びを確認するために、机間指導を通して数名を指名し、振り返りを発表する場を設ける。

5 評価

加法を表すキーワードや文型を活用して、たし算になるおはなしをつくることができたか。
(活動4の記述や発表から)